


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科 特任教授 佐藤 喜美子 (さとう きみこ) SATO Kimiko
所属	保 育 科
学位	準 学 士
資格・免許	中学校教諭一種免許状 (国語)
学歴・職歴	<学歴> 1975年 3月 山梨県立女子短期大学国文科 卒業 <職歴> 1975年 4月 上九一色村立本栖中学校 教諭 (1977年3月まで) 1977年 4月 石和町立石和中学校 教諭 (1986年3月まで) 1986年 4月 八代町境川村立組合立浅川中学校 教諭 (1997年3月まで) 1997年 4月 山梨県総合教育センター 長期内留国語科研究室 (1998年3月まで) 1998年 4月 山梨県教育委員会義務教育課 指導主事 (2006年3月まで) 2006年 4月 笛吹市立浅川中学校 教頭 (2009年3月まで) 2009年 4月 山梨県総合教育センター 主幹研修主事 (2011年3月まで) 2011年 4月 笛吹市立春日居中学校 校長 (2015年3月まで) 2013年 4月 全国公立小・中学校女性校長会 理事 (2015年3月まで) 2015年 4月 山梨県総合教育センター 指導改善研修指導員 (2016年3月まで) 2016年 4月 山梨学院短期大学 特任教授 (現在に至る)
担当科目	国語科教育法 国語 保育内容 (言葉) 子どもと言葉 保育内容 (表現活動) 子どもと言葉 (特論) 保育内容言葉 (特論) 特別活動の理論と方法
専門分野	教育学
現在の研究テーマ	「子どもが対話する保育について」 「保幼小の架け橋プログラムについて ー国語科を通してスタートカリキュラムを構想するー」
競争的資金等の研究課題	ー
所属学会	ー
メッセージ	夢を見つけること (発見)、努力を続けること (継続)、夢を諦めないこと 20代で汗を流さないと、40代で涙を流すことになる 30代で知恵を出さないと、50代で部下が居なくなる 40代で人脈を培わないと、60代で仕事に来なくなる 50代で人望を集めないと、70代で孤独になる 学生の皆さん、若い今こそ、夢に向かって 努力と行動を！

教育	
2023年4月～2024年3月	
教育方針	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭として教育の現場で活躍できるよう、実践力を培い、国語や言葉に関するより高い資質・能力をもった教育者を育成したい。
授業	<p>各校種の教育の現場に生きる実践力を培う為の、演習及び課題の導入</p> <p>○国語科教育法 国語科の学習指導要領について理解し、各領域（話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語事項等）の指導法について学び、模擬授業を構想・演習して「国語科の学習指導案」が書けるようにする</p> <p>○国語 国語力をもった教育者となるよう、基礎・基本の知識や技能の習得と伝統的な言語文化を子どもたちに伝えていく意識を高める為の課題を工夫し、さらに教養として大和言葉などの習得も取り入れる</p> <p>○保育内容（言葉） 領域（言葉）のねらいや指導項目を踏まえて、工夫した遊びや活動を保育の流れの中に取り入れた保育計画を、4人のグループで構想し、プレゼンを行って学び合う。また世代を超えて読み継がれている良い絵本の習得も取り入れる。</p> <p>○子どもと言葉 乳幼児の言葉の発達を踏まえて、いろいろな言葉あそびを通して、思考・判断・表現の芽生えを意識し、本授業で身に付けた知識を活用して「おはなし会」を、4人ずつの小グループでの演習を行い、全体で見合いながら学び合う。「言葉遊び教材集」の作成にも力を入れる。</p> <p>○保育内容（表現活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お話し上手な先生を目指して、アドリブでのお話づくりの演習 ・ 童謡から『人形劇台本』を創り、そのグループ演習から学び合う ・ 模擬保育を構想できることを目指し、絵本や昔話から「劇あそび」を幼児と一緒につくる『保育の流れ』を考える課題に挑ませ、相互にプレゼンテーションを見合って学び合う。 <p>○保育内容言葉（特論）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭のいずれかを目指す個々の学生に、有益な学びとなるよう工夫すること。 ・ スタートカリキュラムを意識した言葉の指導の在り方として、アニメーションや、リテラチャーサークルやビブリオバトルなどの手法を取り入れること。 ・ 通信お便りの書き方を習得し、また語り上手となるよう、それぞれの技能の向上を図ること。 <p>○子どもと言葉（特論）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の言葉を育てることを意識し、対話する保育について考えさせて演習をする。 ・ 本科時代に作成した「言葉遊び教材集」をバージョンアップして、保幼小で活用できるような内容の『言葉遊び教材集』を作成して演習する。 ・ 絵本の読み聞かせ上手となるよう、個々の技能の向上を図ること。

教育（つづき）		
2023年4月～2024年3月（つづき）		
授業（つづき）	授業改善のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い絵本についての知識の習得とその活用により、言葉の遊びや活動を構想する力の鍛錬の為、紹介した絵本のレポートは毎回課題とする 模擬的：実践的演習における相互批評による学び合いを仕組む。 ペアワーク、グループコミュニケーション、ワールドカフェなどを活用した話し合いや演習の設定 個々の課題をプレゼンテーションによって学び合う場を設定する 教育現場を想像しやすいように、映像資料を活用する まずは一人で課題に挑戦し、その後グループで協働して演習に向かわせる
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	—
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	—
課外活動	—	
2023年3月以前		
主な教育業績		<ul style="list-style-type: none"> 山梨学院短期大学免許法認定講習 講師「子どもと言葉特論」（2023年8月21日22日） 丹波山村立丹波山保育所研修会 講師「幼児の言葉の力やコミュニケーション力を伸ばす為のアプローチ・指導の在り方」（2023年9月12日、16日） 山梨学院短期大学教員免許更新講習・免許法認定講習 講師「保育内容特論言葉」（2020年8月、10月、11月） 山梨学院短期大学教員免許更新講習・免許法認定講習 講師「保育内容言葉」（2016年8月） 文部科学省「常用漢字表改訂に伴う学校教育上の対応に関する専門家会議」 委員（2010年6月～2011年3月） 中央教育審議会初等中等教育分科会 専門委員（2003年6月～2009年1月） 文部科学省「中学校学習指導要領」改善協力者（平成20年告示版）（2006年4月～2010年3月） 国立教育政策研究所「特定の課題に関する調査」のための結果分析協力者（2005年4月～2006年3月） 国立教育政策研究所「研究指定校に係る企画委員会」協力者（2004年4月～2005年3月） 国立教育政策研究所「教育課程実施状況調査」のための問題審査協力者（2003年8月～2004年3月） 独立行政法人教員研修センター「『中学校学習指導要領に基づく学習の評価』に関する研修会」 事例発表（対象：指導主事・教員）（2002年8月15日） 国立教育政策研究所「評価規準、評価方法等の研究開発」のための協力者「中学校国語科・評価の在り方事例集」作成（共著）（2002年4月～2003年3月） 山梨県版『道徳教材集』作成委員（樋口一葉・石橋湛山）（2001年）

研究		
2023年4月～2024年3月		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 年中児の自由遊びにおける行動・言葉とその意味～定点カメラの録画からの分析を通して～ (単著)	2022年 8月	山梨学院短期大学研究紀要 第42巻 第2号
(学術論文) 「保育領域「言葉」にかかわる遊びや活動と、小学校「国語」入門期の学習内容との関連について」 (共著)	2022年 1月	山梨学院短期大学研究紀要 第42巻
2023年3月以前(主なもの)		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) 「国語科とのコラボでつくる！書写の新授業モデル」 (共著)	2011年10月	「書写スキルで国語力をアップする！新授業モデル」 (明治図書)
(著書) 「国語に関する世論調査」を読む」 (共著)	2011年 5月	「<単元構想表>でつくる！中学校新国語科授業START BOOK 第1学年」 (明治図書)
(著書) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導のポイント」 (共著)	2011年 2月	「中学校国語科新授業モデル」 (明治図書)
(著書) 中学校国語科の「書くこと」の授業改善 (単著)	2010年11月	「日本語学」(2010年11月号) (明治書院)
(著書) 「『読むこと』の言語活動の開発：説明・記録の読解・引用」 (単著)	2010年 5月	「月間国語教育別冊」魅力ある言語活動の開発事典(2010年5月号) (東京法令出版)
(学術論文) 「考えがもてない？NGにどう対応する」 『主発問に対する考えをもたせる手立て』 (単著)	2014年11月	月刊国語教育 小特集『子どものNG言動への対応』 (明治図書)
(その他) 『新聞で子どもに「考える力」を』 (単著)	2020年 3月29日	「時標」(山梨日日新聞) (山梨日日新聞社)
(その他) 「生徒を本気にさせたNIE」 (単著)	2018年10月	内外教育「わたしたちのNIE」 (時事通信社)

<p>社会貢献 産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等</p>
<p>2023年4月～2024年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本新聞協会 NIE アドバイザー (2018年4月～現在に至る) ・全国学校図書館協議会：読書感想文中央審査委員 (2023年12月～現在に至る) ・山梨国語教育実践研究会 (1982年～=会員 2010年～2015年=会長、2016年～現在=顧問) ・山梨学院短期大学免許法認定講習 講師「子どもと言葉特論」 (2023年8月21日22日) ・丹波山村立丹波山保育所研修会 講師「幼児の言葉の力やコミュニケーション力を伸ばす為のアプローチ・指導の在り方」 (2023年9月12日、16日) ・山梨子ども図書館総会：ミニ講演「子どもと本と大人の関わり」 (2023年6月11日) ・山梨県立笛吹高等学校3年生 講演「小論文に活用する新聞の読み方」 (2024年1月17日) ・峡北教育研究協議会国語部会 講演「NIEの国語教育への効果的活用・授業づくりについて」2024年2月7日)
<p>2023年3月以前 (主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県教育委員会 教育委員 (2018年10月～2022年10月18日まで) ・山梨県立大学同窓会長 (2016年総会実行委員長～副会長 2020年～2022年会長) ・大学アライアンスやまなし評議員 (2020年4月～2022年12月まで) ・笛吹市立春日居小学校国語科校内研修 講師 (2022年7月4日、8月1日、9月2日) ・YBS ラジオ出演「NIEって何？」 (2022年8月12日 9時30分～) ・山梨県立笛吹高等学校3年生 講演「進路に活用できる新聞の読み方」 (2022年9月15日) ・笛吹市春日居小学校の公開研究プレ授業への助言 (2022年10月5日) ・笛吹市教育協議会：公開研究会春日居小学校国語部会での助言者 (2022年10月12日) ・笛吹市 SLA 学習会 講師 講演テーマ「本や新聞に目を向ける児童生徒の育成と学校図書館」 (2021年6月16日：コロナ禍により2022年2月8日にオンラインで実施) ・山梨県立北杜高等学校3年生 講演講師「進学・就職に繋がるNIE」 (2021年7月14日：コロナ禍により対面とリモートの2部制での実施) ・山梨学院幼稚園・認定こども園「保護者の会：学習会」 講師「絵本と大人のかかわり」 (2021年11月29日：コロナ禍により、事前録画による講演) ・赤尾認定こども園：教員研修会 講師 (2021年12月17日) 子の言葉を育てる大人のかかわり」 ・山梨県郡市指導主事会：研修会 講演講師「郡・市の指導主事として、現場の先生方を如何に支援するか」 (スクレーセンター：35人：2021年2月9日) ・笛吹市学びの杜「読書感想文の書き方指導」(小学校高学年36人：2020年8月5日) ・山梨学院短期大学幼稚園教諭教員免許状更新講習・免許法認定講習 保育内容言葉特論 講師 (2020年8月17日・18日、10月17日、11月3日) ・山梨県立北杜高等学校3年生「NIE授業」 (2020年9月23日) ・YGU 山梨学院大学ラジオセミナー「日本人に必要な真の読解力とは」 (2020年2月2日) ・白根百田小学校校内研究会「2年生国語の授業研究」 講師 (2019年11月13日) ・山梨県総合教育センター中高国語科研修会「論理的思考力を高める国語科の授業作り」 講師 (2019年8月9日) ・山梨県立甲府城西高等学校校内研修会「NIE推進活動について」 講師 (2019年7月19日) ・NPO 学びの広場ふえふき笛吹市内小学校5・6年生読書感想文教室 講師 (2019年7月29日) ・山梨県 NIE 指定校研究発表：報告会 講評 (2018年6月) ・NIE 校内研修会 講師 (白州小学校、身延中学校、白州中学校の各校内研修：2018年7月～8月) ・山梨県教育委員会主催「中堅教諭等資質向上研修会」 講師 (2017年7月、12月) ・山梨県総合教育センター「国語科における言語活動の充実研修会」 講師 (2017年7月) ・山梨県教育委員会主催「中堅教諭等資質向上研修」 講師 (2017年8月) ・笛吹市教育協議会主催「教育研究指定校公開授業研究発表会」 助言者 (2017年9月) 一宮北小学校6年生国語「学習のゴールに言語活動の具体を位置づけ主体的・対話的な深い学びを目指した授業づくりについて」 ・山梨学院短期大学教員免許更新講習・免許法認定講習「保育内容言葉」 講師 (2016年8月) ・第39回全国学校図書館研究大会甲府大会 研究部長 (2013年2月～2015年3月)
<p>受賞 ※個人、所属団体</p> <p>—</p>